

# 東北地域人材育成構想会議



## 事例紹介

2026.3.10

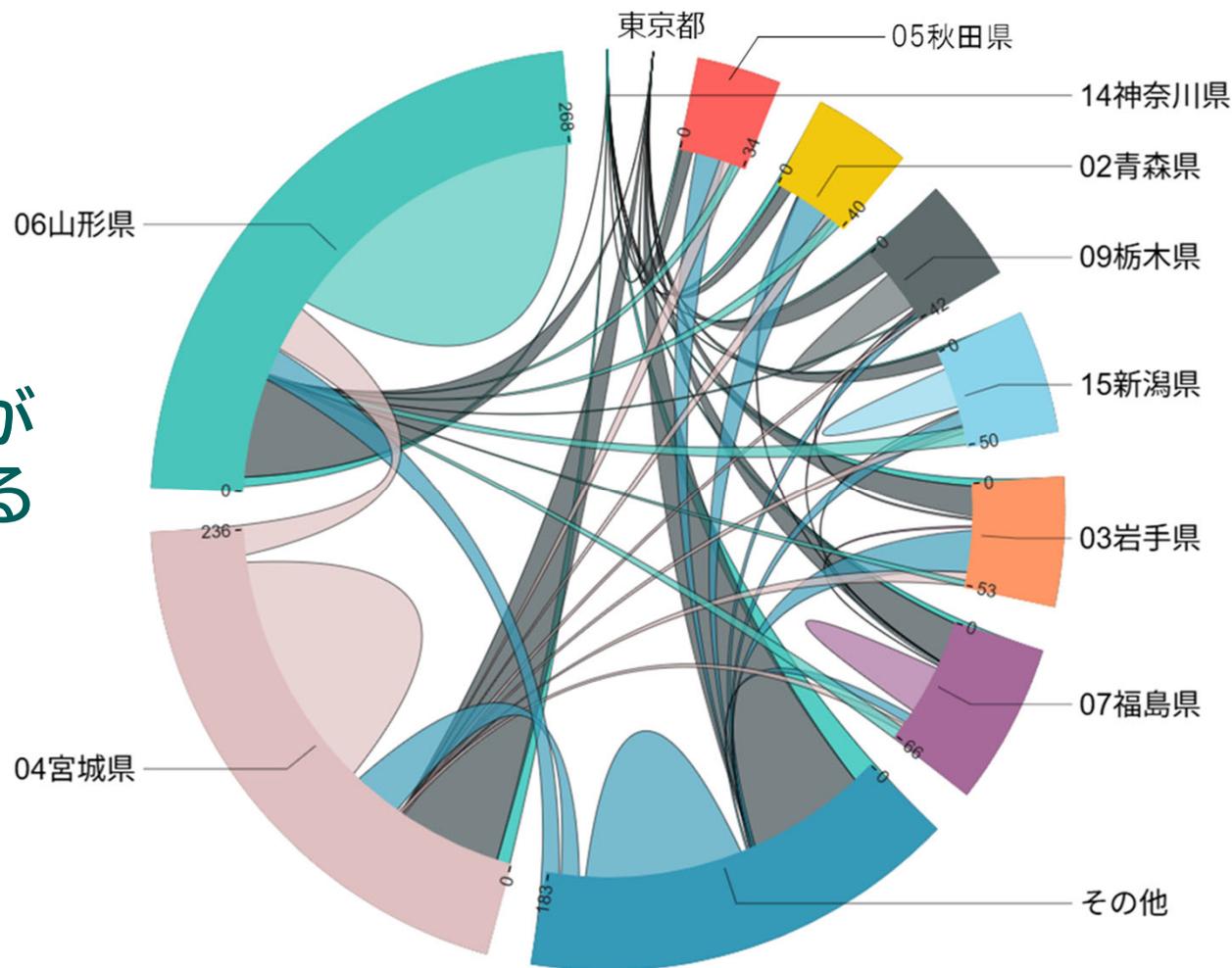
国立大学法人山形大学 学長 玉手英利

# 1. 大学IRで見える地域人材育成の課題

## 2. 山形大学が取り組む地域人材育成

# 山形大学の卒業生はどの地域に行くのか？：出身地域と就職地域

育てた“地域人材”が  
大都市圏に吸収される  
実態



# 就職希望地域は在学中に変わるのか？

## アンケート調査

対象者：2019年度学部入学、2022年度卒業で就職した者

### ■ 入学時点における就職希望地域

データ収集方法：全ての入学者を対象にしたアンケートを入学時に実施

### ■ 実際の就職先地域

データ収集方法：学校基本調査対応業務  
2023年5月に卒業後の動向調査

## 設問 現時点における卒業後の希望勤務地を教えてください

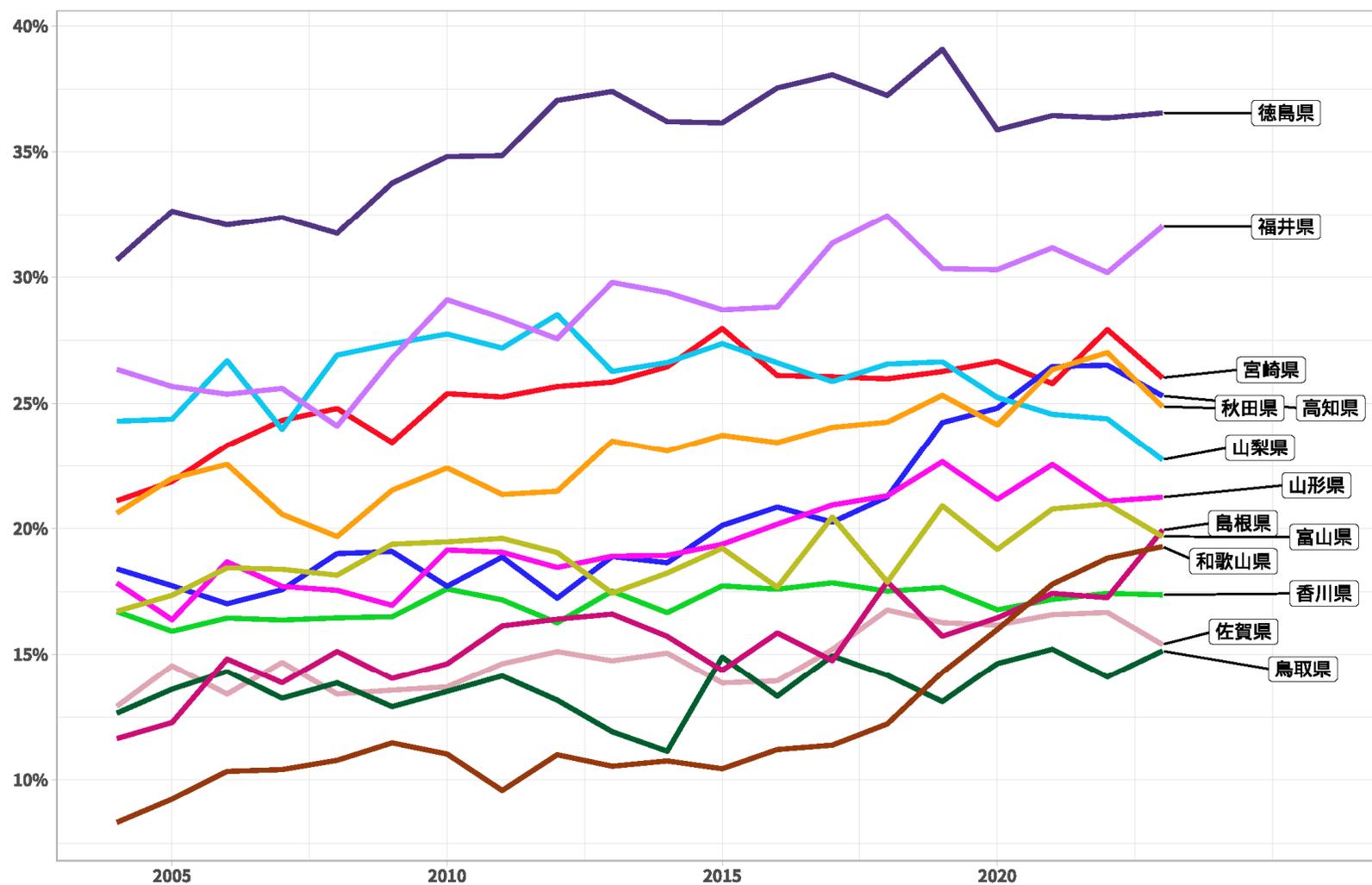
- ① 山形県
- ② 山形県以外の東北地方（青森、秋田、岩手、宮城、福島）
- ③ 首都圏（東京、千葉、埼玉、神奈川）
- ④ 上記以外の都道府県、または海外
- ⑤ 決まっていない

## 入学時点における希望勤務地域と実際の山形県内就職率

- 入学時に「山形県内就職を希望」と回答した学生の**72%**が、実際に「県内就職」
- 入学時に「山形県内就職を希望」と回答した山形県出身の学生の**77%**が実際に「県内就職」
- 入学時点での希望勤務地が重要？（大学進学前の意識づけが重要）

入学時における希望勤務地	全入学者に占める回答した学生の割合	回答者における山形県内就職率
未定	35%	17%
東北地方(除山形県)	25%	10%
山形県	18%	72%
首都圏	11%	7%
上記以外	11%	8%

# 人口110万人以下の県の大学入学者における地元残留率推移



出典：山形大学OIRE “データで見る山形県” 作成者 藤原宏司

1. 大学IRで見える地域人材育成の課題

**2. 山形大学が取り組む地域人材育成**

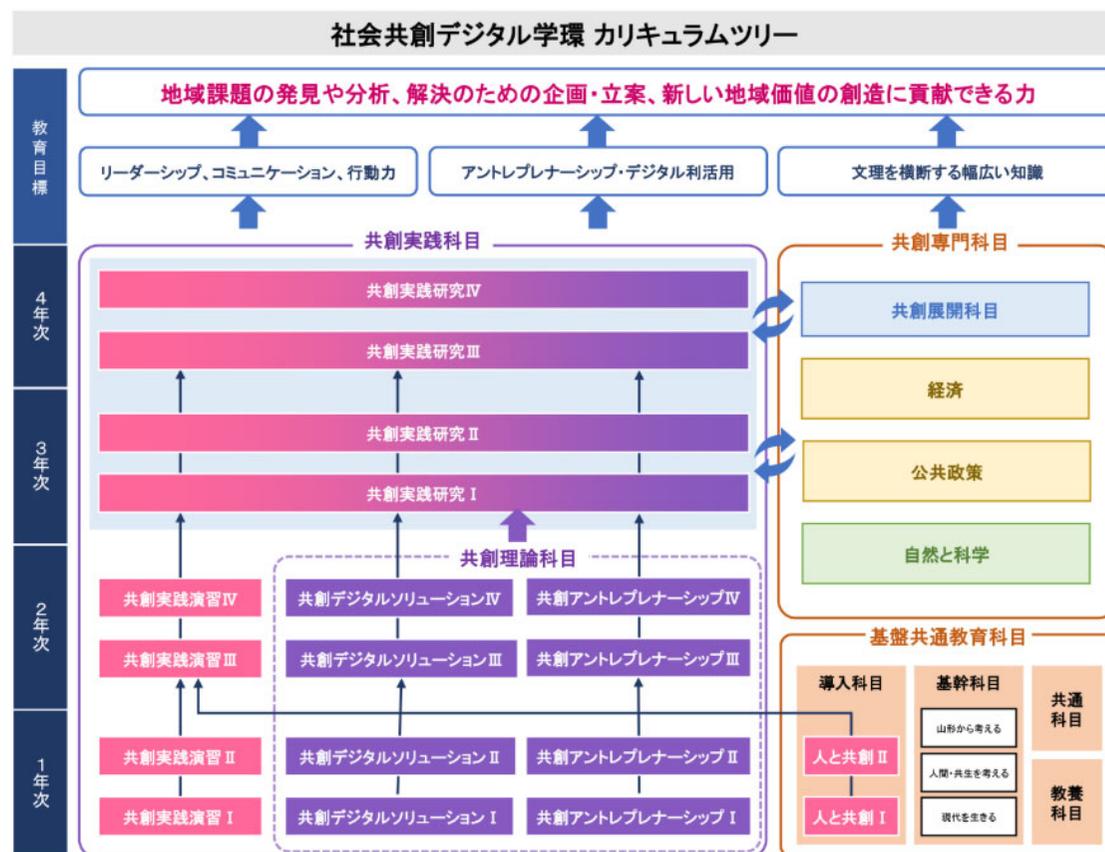
# 山形大学の取組：地域課題解決を実践する教育プログラム

山形大学社会共創デジタル学環（略称：CID）は人と共創し データに基づく価値創造で  
地域社会をマネジメントする人材を育む新しい教育組織です

学際的思考力、デジタル利活用力、マネジメント力を総合して現実の課題解決に取り組む力、そして社会共創力を養います

人口減少や高齢化が進展する地域社会では、過疎化や産業の衰退など様々な地域課題に直面しています。そうした地域課題を解決していくには、課題を俯瞰して思考できる文系・理系の総合知を持ち、デジタルを活用して課題を分析し、多様な人々と協働してその解決策を創造できる人材が必要です。

このような背景のもと本学環では、多様な人々と協働して地域課題の解決策を企画・実施できる「マネジメント力」とデジタルを活用して的確に課題を分析し、新たな価値を創造できる「デジタル利活用力」、そして文系・理系の学問分野を横断する学際的な専門知識と論理的思考力（学際的思考力）を身に付けた、課題解決型の実践人材を育成します。



## やまがた社会共創プラットフォーム

(令和6年4月に大学コンソーシアムやまがたを移設)

地域課題を共有し、解決に向けて  
「オールやまがた」で取り組みます！

### 産学官金医の連携

「健康・医療」の分野も含めた  
「やまがたモデル」のプラットフォーム

### 全国屈指の規模

県内全市町村が加盟する  
「オールやまがた」体制により、  
様々な課題を吸い上げ、見える化



### 課題解決に向けた事業実践の場

同じテーブルで恒常的に話し合い、  
地域課題を共有・明確化し、具体的な方策を実践



### 2022年10月発足

県内全自治体、経済団体等、県内全高等教育機関  
全63機関で構成



### 設立の目的

地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組み、個人及び  
地域社会のウェルビーイング(幸福)に貢献し、地域の持  
続的発展を目指す



### 3つの重点事項

- ・山形県内大学生の地元定着率向上(Uターン学生含む)
- ・山形県内高等学校からの県内大学進学率向上
- ・女性の活躍・地域定着

## オール山形の産学官金医連携「やまぷら」で展開するリカレント教育エコシステム構築事業

プログラム名	対象者	目的・内容
やまがた共創塾「地域産業コア人材育成プログラム（第2期）」	中堅層・プレマネジメント層・管理者層など	5ヶ月・全67時間の対面研修。経営シミュレーションや企業実地研修などを通じ、地域産業を牽引するコア人材を育成する。修了者にはデジタルバッジを発行。
やまがた共創塾「経営者アップグレードプログラム（仮称）」	山形県内の中小企業経営者	全5回・15時間のプログラム。人材育成に取り組む企業の考え方やリスクマネジメントを学び、自社の成長戦略に繋げる。
やまがた共創塾「『やまがたモデル』を活用したカーボンニュートラル人材育成プログラム（第2期）」	山形県内の自治体職員など	山形大学と飯豊町が共同開発した独自の温室効果ガス削減手法「やまがたモデル」を学ぶ。オンライン併用で実施し、地域のカーボンニュートラルを推進する人材を育成する。
観光人材育成プログラム	山形県内で観光業に従事する企業、団体、自治体職員	観光庁のガイドラインに基づき、観光事業戦略やマーケティング、DX等を体系的に学ぶ。観光分野における地域のリーダーを育成する。
やまがた社会共創ワークショップ	「やまぷら」加盟機関の職員、学生など	参加者間のネットワーク構築と、地域の課題解決策の創出を目的としたワークショップ。「若者の住みやすいまちづくり」など、毎回テーマを設定して議論を行う。

## 「学びのエコシステム」がもたらす3つの進化

やまがた社会共創プラットフォーム（やまぷら）は、単なる教育プログラムの提供にとどまらず、地域を変革する持続可能な「エコシステム」として確かな推進力（モメンタム）を生み出しています。

